

令和5年3月定例会

# 予算決算委員会資料

1. 西大寺駅前広場整備事業に関連して発注した、西大寺一条線歩道整備工事の契約までの手続き、

契約内容、工事の内容が分かる資料

都市整備部 西大寺駅周辺整備事務所

西大寺一条線歩道整備工事（西大寺東町二丁目地内）

令和4年12月5日 施工起案

令和4年12月13日 奈良市建設工事入札参加者等審査会承認

令和4年12月13日 鹿島建設株式会社 奈良営業所長に見積提出依頼

令和5年1月10日 鹿島建設株式会社 奈良営業所長が見積書を提出

令和5年1月13日 工事請負契約締結

契約書中第4条及び

010000  
契約書 G1463

工 事 請 負 契 約 書

1 工 事 名 西大寺一条線歩道整備工事

2 工 事 番 号 \_\_\_\_\_

3 工 事 場 所 奈良市西大寺東町二丁目 地内

4 工 期 自 令和5年1月13日  
至 令和5年3月31日

5 請負代金額 金 48,400,000 円  
(うち取引に係る消費税及び地方消費税の合計額 金 4,400,000 円)  
〔( )の部分は受注者が課税業者である場合に限り、記入してください。〕

6 契約保証金額 金 免 除 円  
ただし、  
現 金 金 \_\_\_\_\_ 円  
代用証券 金 \_\_\_\_\_ 円 (内訳別紙明細書のとおり)

7 解体工事に要する費用等 (別紙のとおり)

上記の工事について、発注者と受注者は、各々の対等な立場における合意に基づいて、次の条項によって公正な請負契約を締結し、信義に従って誠実にこれを履行するものとする。  
また、受注者が共同企業体を結成している場合には、受注者は、別紙の共同企業体協定書により契約書記載の工事を共同連帯して請け負う。  
本契約の証として本書2通を作成し、発注者及び受注者が記名押印の上、各自1通を保有する。

令和 5 年 / 月 13 日

発注者 住所 奈良市二条大路南一丁目1番1号

氏名 奈良市  
奈良市長 仲川 元庸

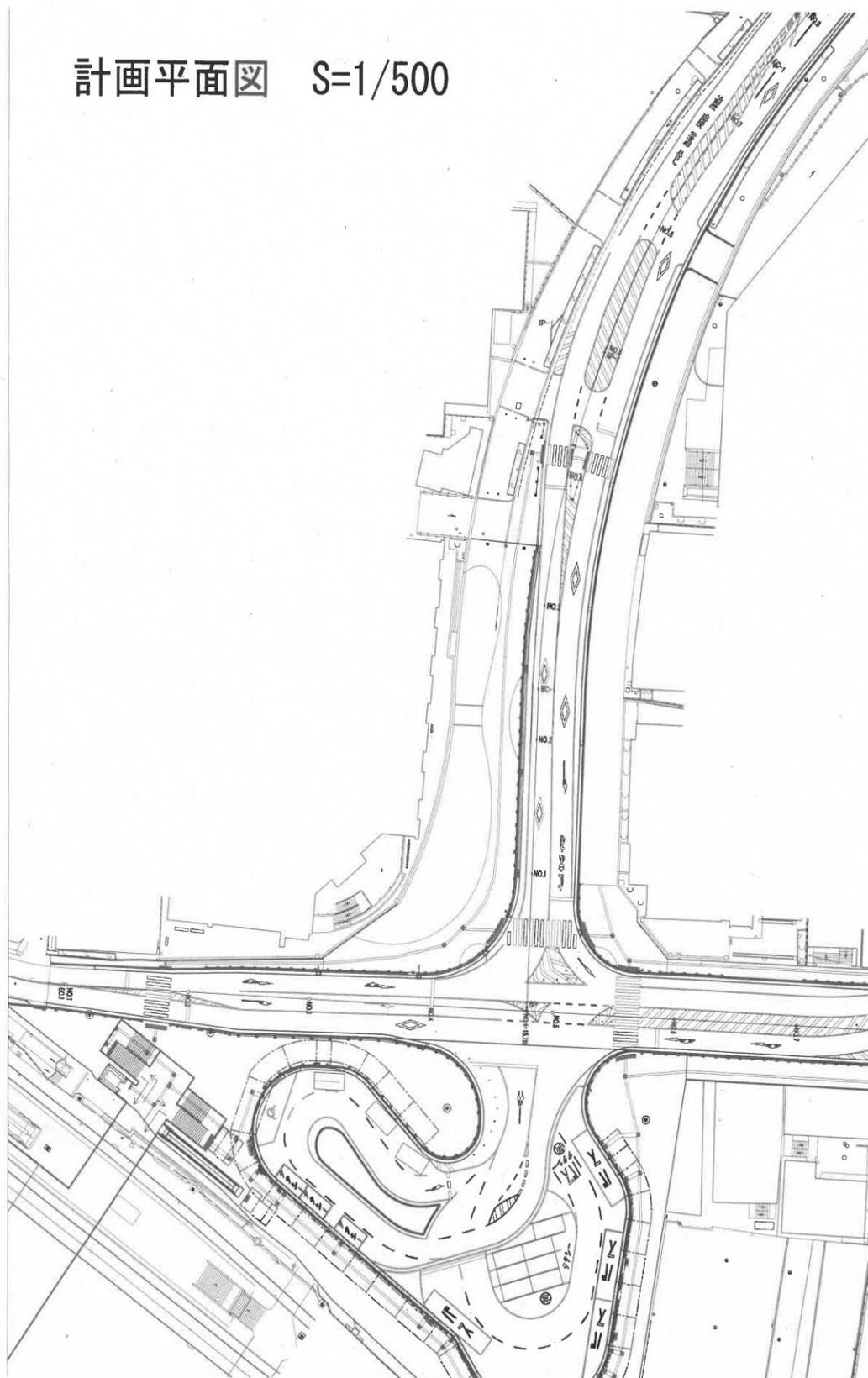
受注者 住所 奈良市高天町38番地の3  
鹿島建設株式会社奈良営業所

氏名 所長 岡野 隆

1. 西大寺駅前広場整備事業に関連して発注した、西大寺一条線歩道整備工事の契約までの手続き、契約内容、工事の内容が分かる資料

都市整備部 西大寺駅周辺整備事務所

計画平面図 S=1/500



2. 令和4年度大和川上流・宇陀川流域下水道事業市町村建設負担金の変更についての奈良市企業局から県への回答

企業局 事業部 下水道事業課

奈企第1125号の2  
令和5年2月27日

奈良県知事 荒井正吾様

奈良市公営企業管理者 池田 修

令和4年度大和川上流・宇陀川流域下水道事業（第一処理区）  
市町村建設負担金の変更について（回答）

令和5年2月10日付 下水第181号の1で協議のあったこのことについて、下記の意見を付して承諾します。

（意見）

- ① 建設負担金は処理区別に市町村と県とが国庫を除いた額の1/2ずつ（宇陀川事業は宇陀市が1/8、県が7/8）を負担しているが、その施設の元利償還（減価償却費）として費用に計上されると、維持管理費の統一単価で処理され、有収水量比で負担することとなる。これは、建設負担の原則に反し、過度の負担を奈良市が負っていることになる。よって、これらの矛盾を改善するためにも、維持管理負担金の算定方法について、県と関係市町村が基本協定書を締結すること。
- ② 大和川上流・宇陀川流域下水道事業（第一処理区）の市町村建設負担金は、本市の投資額に大きく影響することから、将来の流域下水道の投資計画と流域下水道に接続する市町村の投資計画について、県と市町村共同で検討する場を設置すること。
- ③ 本市の単独処理場の流域下水道への編入について取り組むこと。

上記の3項目について、前向きに検討していただきますようお願いいたします。

2. 令和4年度大和川上流・宇陀川流域下水道事業市町村建設負担金の変更についての奈良市企業局から県への回答

企業局 事業部 下水道事業課

<参考>



下水第181号の1  
令和5年2月10日

奈良市公営企業管理者 殿

奈良県知事 荒井正吾



令和4年度大和川上流・宇陀川流域下水道事業（第一処理区）  
市町村建設負担金の変更について（協議）



令和4年4月13日付 下水第6号の1 で協議しましたこのことについて、地方財政法第27条第2項の規定により下記のとおり協議しますので、令和5年2月22日（水）までにご回答願います。

記

事業名	区分	事業費	負担率	負担金(円)		
大和川上流・宇陀川流域 下水道事業 (第一処理区)	補助事業	管渠	一次分	405,626,326	0.49410	52,220,749
		管渠	三次分	0	-	-
		処理場	一次分	793,271,723	0.41446	68,401,207
			三次分		-	-
	計	1,198,898,049		118,621,956		
	単独事業	処理場	一次分	400,000	0.41446	82,892
			三次分		-	-
		舗装復旧等	一次分	0	0.49410	0
			三次分		-	-
	計	400,000		82,892		
合計	1,199,298,049		118,704,848			

### 3. 市営住宅の空き家状況と来年度の改修戸数計画

都市整備部 住宅課

R5.3.1現在

団地名		管理戸数	入居戸数	空戸数
第2号市営住宅	(東之阪)	166	144	22
第3号市営住宅	(桜町)	32	29	3
第4号市営住宅	(般若寺)	96	85	11
第5号市営住宅	(大安寺)	60	59	1
第9号市営住宅	(紀寺)	96	90	6
第10号市営住宅	(古市)	153	113	40
第11号市営住宅	(杏)	78	65	13
第12号市営住宅	(横井)	78	60	18
第13号市営住宅	(八条)	14	12	2
第14号市営住宅	(南紀寺)	35	28	7
第18号市営住宅	(五条山)	166	118	48
第19号市営住宅	(梅園)	16	13	3
第20号市営住宅	(松陽台)	170	143	27
第21号市営住宅	(西之阪)	60	59	1
第1号コミュニティ住宅	(JR奈良駅前)	180	157	23
第2号コミュニティ住宅	(梅園)	40	26	14

空家の状況	管理戸数	入居戸数	空戸数
合計	1,440	1,201	239

各戸数は、現在定期空家募集を実施している団地を集計したもの

改修戸数 R5年度予算案	
一般世帯向け	20
子育て世帯向け	20
多子世帯向け	2

改修の対象となる住宅は、上記空戸数と入居戸数から退去するもの

## 4 道路損傷等スマホ通報システムの実績のわかるもの（年度別、通報内容）

建設部 道路維持課

令和3年3月末日時点

R 2	投稿の種類													月投稿数
	街路灯					道路				その他の投稿				
	不点灯					穴ぼこ				その他				
	投稿	内訳				投稿	内訳			投稿	内訳			
市道路維持課 管轄		県・国	市他課 管轄	自治会・個人	市道・行政財産 道路		県道・国道	私道	市道・行政財産 道路		県道・国道	私道		
7月	5	3	0	0	2	43	37	3	3	13	10	3	0	61
8月	4	3	1	0	0	25	21	1	3	11	11	0	0	40
9月	7	7	0	0	0	35	29	1	5	14	14	0	0	56
10月	5	3	2	0	0	26	24	1	1	4	3	1	0	35
11月	6	5	0	1	0	28	25	2	1	6	6	0	0	40
12月	1	1	0	0	0	23	21	1	1	8	7	1	0	32
1月	4	4	0	0	0	26	25	0	1	13	12	1	0	43
2月	5	5	0	0	0	34	29	4	1	6	5	0	1	45
3月	1	0	1	0	0	31	25	5	1	8	5	3	0	40
計	38	31	4	1	2	271	236	18	17	83	73	9	1	月平均
											令和2年度投稿数	392	43.6	

## 4 道路損傷等スマホ通報システムの実績のわかるもの（年度別、通報内容）

建設部 道路維持課

令和4年3月末日時点

R 3	投稿の種類													
	街路灯					道路				その他の投稿				
	不点灯					穴ぼこ				その他				
	投稿	内訳				投稿	内訳			投稿	内訳			月投稿数
市道路維持課 管轄		県・国	市他課 管轄	自治会・個人	市道・行政財産 道路		県道・国道	私道	市道・行政財産 道路		県道・国道	私道		
4月	1	1	0	0	0	48	32	12	4	6	6	0	0	55
5月	2	1	0	0	1	61	52	7	2	12	10	2	0	75
6月	3	3	0	0	0	39	30	6	3	9	9	0	0	51
7月	2	2	0	0	0	23	18	3	2	6	5	1	0	31
8月	2	2	0	0	0	20	16	2	2	14	14	0	0	36
9月	3	1	2	0	0	34	24	7	3	4	4	0	0	41
10月	5	3	2	0	0	18	17	1	0	3	1	2	0	26
11月	7	7	0	0	0	29	25	3	1	6	4	2	0	42
12月	3	3	0	0	0	39	33	3	3	12	7	5	0	54
1月	1	1	0	0	0	22	16	5	1	5	4	1	0	28
2月	0	0	0	0	0	17	14	2	1	6	6	0	0	23
3月	0	0	0	0	0	16	11	2	3	5	4	1	0	21
計	29	24	4	0	1	366	288	53	25	88	74	14	0	月平均
											令和3年度投稿数	483		40.3

## 4 道路損傷等スマホ通報システムの実績のわかるもの（年度別、通報内容）

建設部 道路維持課

令和5年1月末日時点

R 4	投稿の種類													
	街路灯					道路				その他の投稿				月投稿数
	不点灯					穴ぼこ				その他				
	投稿	内訳				投稿	内訳			投稿	内訳			
市道 道路維持課 管轄		県・国	市 他課 管轄	自治会・個人	市道・行政財産 道路		県道・国道	私道	市道・行政財産 道路		県道・国道	私道		
4月	1	1	0	0	0	35	30	3	2	3	3	0	0	39
5月	1	1	0	0	0	44	41	1	2	8	7	0	1	53
6月	2	2	0	0	0	42	38	1	3	6	2	3	1	50
7月	2	1	1	0	0	45	39	2	4	9	6	3	0	56
8月	6	5	1	0	0	29	20	7	2	10	9	1	0	45
9月	5	5	0	0	0	55	52	2	1	13	13	0	0	73
10月	6	6	0	0	0	35	21	9	5	5	5	0	0	46
11月	3	3	0	0	0	46	40	6	0	9	7	1	1	58
12月	1	1	0	0	0	37	27	6	4	29	29	0	0	67
1月	0	0	0	0	0	34	30	2	2	2	2	0	0	36
2月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	27	25	2	0	0	402	338	39	25	94	83	8	3	月平均
											令和4年度投稿数	523		52.3

## 5. 水道事業及び下水道事業の財政見通し（今後10年）

企業局経営企画課

### 水道事業会計

（単位：百万円、税抜き）

	令和2年度 (決算)	令和3年度 (決算)	令和4年度 (決算見込)	令和5年度 (予算案)	令和6年度 (計画)	令和7年度 (計画)	令和8年度 (計画)	令和9年度 (計画)	令和10年度 (計画)	令和11年度 (計画)	令和12年度 (計画)	令和13年度 (計画)
収益的收入	8,319	8,790	8,697	8,644	8,474	8,400	8,297	8,222	8,105	8,038	7,949	7,873
収益的支出	7,655	7,662	8,063	8,591	7,791	7,843	7,903	8,007	8,054	8,123	8,201	8,287
差引	664	1,128	634	53	683	557	394	215	51	△ 85	△ 252	△ 414
資本的收入	1,791	1,579	2,298	1,686	1,473	1,506	1,539	1,644	1,677	1,783	1,014	1,120
資本的支出	4,025	4,334	4,966	3,628	4,390	4,438	4,392	4,396	4,404	4,388	4,316	4,273
差引	△ 2,234	△ 2,755	△ 2,668	△ 1,942	△ 2,917	△ 2,932	△ 2,853	△ 2,752	△ 2,727	△ 2,605	△ 3,302	△ 3,153
補填財源	減価償却費等	3,045	2,994	2,985	3,251	3,316	3,393	3,456	3,559	3,603	3,670	3,810
	△長期前受金戻入	△ 1,317	△ 1,302	△ 1,259	△ 1,274	△ 1,193	△ 1,165	△ 1,140	△ 1,120	△ 1,098	△ 1,083	△ 1,053
	利益剰余金	664	1,128	634	53	683	557	394	215	51	△ 85	△ 252
	計	2,392	2,820	2,360	2,030	2,806	2,785	2,710	2,654	2,556	2,502	2,421
当年度資金収支	158	65	△ 308	88	△ 111	△ 147	△ 143	△ 98	△ 171	△ 103	△ 881	△ 810
資金留保額 R1 5,366	5,524	5,589	5,281	5,369	5,258	5,111	4,968	4,870	4,699	4,596	3,715	2,905

下水道事業会計

(単位：百万円、税抜き)

	令和2年度 (決算)	令和3年度 (決算)	令和4年度 (決算見込)	令和5年度 (予算案)	令和6年度 (計画)	令和7年度 (計画)	令和8年度 (計画)	令和9年度 (計画)	令和10年度 (計画)	令和11年度 (計画)	令和12年度 (計画)	令和13年度 (計画)	
収益の収入	8,182	8,196	8,059	8,241	7,942	7,956	7,867	7,824	7,760	7,725	7,642	7,618	
収益の支出	7,364	7,584	7,657	7,979	7,597	7,583	7,575	7,571	7,510	7,511	7,456	7,440	
差引	818	612	402	262	345	373	292	253	250	214	186	178	
資本の収入	2,256	2,336	2,917	1,816	3,613	3,335	3,053	2,881	2,883	2,883	2,878	2,876	
資本の支出	4,030	4,417	5,014	4,013	5,564	5,430	5,306	4,947	4,903	4,771	4,607	4,501	
差引	△ 1,774	△ 2,081	△ 2,097	△ 2,197	△ 1,951	△ 2,095	△ 2,253	△ 2,066	△ 2,020	△ 1,888	△ 1,729	△ 1,625	
補填財源	減価償却費等	3,898	3,890	3,876	3,883	4,011	4,038	4,046	4,074	4,069	4,098	4,071	4,076
	△長期前受金戻入	△ 2,421	△ 2,423	△ 2,425	△ 2,440	△ 2,446	△ 2,459	△ 2,453	△ 2,461	△ 2,449	△ 2,466	△ 2,450	△ 2,450
	利益剰余金	818	612	402	262	345	373	292	253	250	214	186	178
	計	2,295	2,079	1,853	1,705	1,910	1,952	1,885	1,866	1,870	1,846	1,807	1,804
当年度資金収支	521	△ 2	△ 244	△ 492	△ 41	△ 143	△ 368	△ 200	△ 150	△ 42	78	179	
資金留保額 R1末 1,208	1,729	1,727	1,483	991	950	807	439	239	89	47	125	304	

## 6. 立地適正化計画策定の委託状況（年度、作業内容、費用、検収など、経過順）

年度	主な作業内容	費用	検収日	備考
H30	関連計画・都市の現況整理 市民意識調査 課題の抽出 まちづくりの方針	6,070,000 円	H31.3.29	都市計画課で実施
R1	都市機能誘導区域・誘導施設の検討 居住誘導区域の検討 誘導施策の検討	4,930,200 円	R.2.3.24	
R2	人流データを活用した行動特性分析による誘導区域の検討	2,530,000 円	R3.3.31	
R3	防災指針の検討	2,805,000 円	R4.3.31	
R4 (実施中)	多様なステークホルダーの意向、先進動向調査 課題整理	4,697,000 円		都市計画マスタープラン改訂と一体で実施
R5 (予定)	計画（素案）作成 パブリックコメント	2,585,000 円		

7. JR奈良駅南地区特定土地区画整理事業の事業計画（年割り）

都市整備部 JR奈良駅周辺整備事務所

（単位：千円）

年度	事業内容	国費対象事業費	保留地	単独	事業費計
R4	整備面積 A=2,000㎡ 建物補償 4件	48,241	29,495	107,713	185,449
R5	整備面積 A=6,700㎡ 建物補償 30件 第2調整池築造(2000㎡)	96,900	42,100	512,400	651,400
R6	整備面積 A=20,000㎡ 建物補償 7件	144,004	121,060	629,871	894,935
R7	整備面積 A=18,735㎡ 画地確定測量及び引継ぎ図書作成	421,809	29,802	340,487	792,098
R8	換地処分手続き及び清算事務	0	0	28,900	28,900
	残事業費(R4年度末時点)	662,713	192,962	1,482,758	2,338,433
	執行済み(R4年度末時点)	4,945,287	855,038	392,242	6,192,567
	全体事業費	5,608,000	1,048,000	1,875,000	8,531,000

## 8. 富雄駅北口周辺についての再開発が検討されたことが分かる資料

都市整備部 都市計画課

### <位置図>



### <経過>

昭和61年度

現地調査、実施計画を検討し、地元協議を重ねた。



平成10年度

しかし、平成10年7月実施の意向調査で9割の反対の意向が示され、市としては計画を断念した。

以降



市と地元代表との間で、まちづくりの方策等について協議した結果、地元主導でまちづくり組織を立ち上げて進めていく方向となった。

市では、地元主導のまちづくり組織に対し、専門家のアドバイスによる勉強会やまちづくりの方針や計画図案作成等のためのコンサルタントの派遣について支援の用意をしてきたが、具体的な動きはない。